

全国連盟G1登山隊と支援トレッキング隊出発

パキスタンのガッシャーブルム1峰(8068m)を目指す今夏の登山全国連盟隊は6月2日に先発隊(近藤、藤川)、10日に本隊4人が出発し、約2カ月半の活動に入ります。一行は近藤和美隊長(63・東京・峰凌倶楽部)以下、藤川勝人登攀隊長(39・東京・J E C C)、小林喜一(50・富山登山)、河野千鶴子(58・東京・練馬山の会)、廣木愛子(59・ちば山の会)、花田剛(30・島根・松江A C)の6人。ルートは近年通常ルート化している北面ジャパニーズ・クーロワールではなく、西稜を予定しています。

また登山隊支援のバルトロ氷河トレッキング隊も伊藤正勝団長(全国連盟ハイキング委員長)、池田壮彦エスコート・ガイドら10人がBCまで同行します。一行は登山隊BCに数日間滞在した後、眺望絶佳で変化あるゴンドゴロ・パス(5700m)を越えて帰途に就く予定です。

なお登山隊には当初土屋孝右衛さん(53・兵庫・西宮登山)、も参加予定でしたが、4月24日富士山で無念にも滑落死亡されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



ガッシャーブルム2峰南西稜から望む1峰(右手前の尾根が西稜)